

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和7年6月13日(2025.6.13)

【国際公開番号】WO2024/070641

【出願番号】特願2024-550016(P2024-550016)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30(2006.01)

H 1 0 K 50/86(2023.01)

H 1 0 K 59/10(2023.01)

B 3 2 B 27/18(2006.01)

B 3 2 B 7/023(2019.01)

C 0 8 L 33/14(2006.01)

C 0 8 L 29/04(2006.01)

C 0 9 D 201/00(2006.01)

10

【F I】

G 0 2 B 5/30

H 1 0 K 50/86

H 1 0 K 59/10

B 3 2 B 27/18 A

B 3 2 B 7/023

C 0 8 L 33/14

C 0 8 L 29/04 A

C 0 9 D 201/00

20

【手続補正書】

【提出日】令和7年2月27日(2025.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配向膜と、前記配向膜と隣接して配置される光学異方性層とを含み、
前記光学異方性層が、液晶化合物を含む組成物を用いて形成され、
前記配向膜が、紫外線吸収剤を含む粒子、および、重合性基を有する重合性化合物の硬化物を含み、
前記粒子の平均粒子径が、500nm以下であり、
前記紫外線吸収剤の極大吸収波長が320～400nmの範囲に位置する、光学フィルム。

40

【請求項2】

前記極大吸収波長が、360～400nmの範囲に位置する、請求項1に記載の光学フィルム。

【請求項3】

前記紫外線吸収剤が、ベンゾジチオール系化合物である、請求項1または2に記載の光学フィルム。

【請求項4】

前記液晶化合物が重合性基を有し、

前記液晶化合物が有する前記重合性基と、前記重合性化合物が有する前記重合性基とが

50

ともにラジカル重合性基であるか、

前記液晶化合物が有する前記重合性基と、前記重合性化合物が有する前記重合性基とがともにカチオン重合性基である、請求項 1 または 2 に記載の光学フィルム。

【請求項 5】

前記粒子が、重合性基を有し、

前記粒子が有する前記重合性基と、前記重合性化合物が有する前記重合性基とがともにラジカル重合性基であるか、

前記粒子が有する前記重合性基と、前記重合性化合物が有する前記重合性基とがともにカチオン重合性基である、請求項 1 または 2 に記載の光学フィルム。

【請求項 6】

請求項 1 または 2 に記載の光学フィルムと、偏光子とを含む、偏光板。

【請求項 7】

紫外線吸収剤を含む粒子、および、重合性基を有する重合性化合物を含み、

前記粒子の平均粒子径が、500 nm 以下であり、

前記紫外線吸収剤の極大吸収波長が 320 ~ 400 nm の範囲に位置する、配向膜形成用組成物。

【請求項 8】

前記極大吸収波長が、360 ~ 400 nm の範囲に位置する、請求項 7 に記載の配向膜形成用組成物。

【請求項 9】

前記紫外線吸収剤が、ベンゾジチオール系化合物である、請求項 7 または 8 に記載の配向膜形成用組成物。

【請求項 10】

前記粒子が、重合性基を有し、

前記粒子が有する前記重合性基と、前記重合性化合物が有する前記重合性基とがともにラジカル重合性基であるか、

前記粒子が有する前記重合性基と、前記重合性化合物が有する前記重合性基とがともにカチオン重合性基である、請求項 7 または 8 に記載の配向膜形成用組成物。

【請求項 11】

請求項 7 または 8 に記載の配向膜形成用組成物を支持体上に塗布して第 1 塗膜を形成し、前記第 1 塗膜に配向処理を施す工程と、

前記配向処理が施された前記第 1 塗膜上に、液晶化合物を含む組成物を塗布して、第 2 塗膜を形成する工程と、

前記第 1 塗膜および前記第 2 塗膜に硬化処理を施して、配向膜および光学異方性層を形成して、前記支持体、前記配向膜、および、前記光学異方性層を含む積層体を形成する工程と、

前記光学異方性層と偏光子とが対向するように、前記積層体と前記偏光子とを貼合し、得られた貼合物から前記支持体を剥離して、前記偏光子と、前記光学異方性層と、前記配向膜とを含む偏光板を得る工程とを有する、偏光板の製造方法。

10

20

30

40

50